

検索表示チェックシート

原因の切り分け、認証を取るかの判断表12例、アカウント名の作り方と確認の記録表までの7枚

この7枚でできること

- ☐ 自分のアカウントが検索に出ない原因を、5段の切り分けで1つに絞れる
- ☐ 自分の店が認証を取るべきか、未認証のままでよいかを決められる
- ☐ 申請したら変えられないアカウント名を、探される言葉を入れて先に決め切れる
- ☐ 認証が通ったあと、本当に検索に出たかを6つの入り口で確かめて記録できる

使う順番

2ページで原因を切り分ける → 未認証なら3ページで認証を取るか決める → 取るなら4～5ページでアカウント名を決める → 6ページで取り返しがつかないことを確かめる → 7ページで申請前の最終チェック。認証が通ったら7ページの記録表で検索結果を確かめる。

いちばん大事なのは、**名前を決めてから申請する**順番です。申請したあとはアカウント名を変えられません。

目次

2	検索に出ない原因の切り分け 上から順に5段。自分がどこで止まっているかが分かる
3	認証を取るかどうかの判断表 12の店の例と、自分の状況を書き込む欄
4	探される入り口と、アカウント名の例 6つの探され方と、12業種の名前の付け方
5	アカウント名を決める書き込みシート 探されたい言葉の書き出し、20マスの候補欄、確定の前のチェック
6	取り返しがつかないことと、認証で増えること 申請の前に知っておくことの一覧と、使える機能9つ
7	申請前の最終チェックと、検索の確認記録 認証が通ったあとの設定と、6つの入り口で確かめる表

数字と決まりの出どころ

検索に出る条件、確認する画面の場所、審査の日数、プレミアムIDの料金などは、記事「未認証と認証済アカウントの違い」に書いた内容（LINEやフー公式のヘルプ、公式ページ、公式コラムと、GOENの管理画面で実際に確かめたもの）だけを載せています。アカウント名の20文字の上限は、同じ講座の第6回（開設）の記事に書いたものです。内容は2026年10月1日時点の記事に基づきます。管理画面の表示や仕様は変わることがあるので、申請の前に管理画面の表示を確かめてください。店の例はどれも架空の店です。

検索に出ない原因の切り分け

原因は2つ。3つ目は名前の埋もれ

上から順に見て、当てはまったところで止まります。右の欄が、その段でやることです。

段1	自分のアカウントは未認証か、認証済か 管理画面の右上「設定」→ 左の「アカウント 設定」→ 少し下の「アカウント 情報」にある認証ステータスを見る。	「未認証」で緑の「アカウント 認証をリクエスト」ボタンが出ている → 2へ 「認証済」 → 3へ
段2	未認証なら、検索には出ない 公式ヘルプの原文は「インターネット上やLINE内の検索結果には表示されません」。ID検索も含む。設定を探しても見つからないのは、未認証だと項目そのものが無いから。	友だちが増えるのはQRコードとURLだけ。検索から集めたいなら3ページで認証を取るか決める
段3	認証済なのに出不ないなら、表示設定 「検索結果とおすすみに表示」がオフだと出ない。パソコン → アカウントリストで対象を選ぶ → 「ビジネスプロフィール」タブ → 「プロフィールの公開設定」の「公開設定を変更」。スマホの管理アプリ → ホーム → プロフィール → プロフィールの公開設定。	オフだった → オンにして4へ オンだった → 4へ
段4	設定を変えたばかりなら、反映待ち 設定を変えてから検索結果に反映されるまで、数時間から1日かかることがある。	1日待っても出ない → 5へ
段5	同じような名前に埋もれている 「カフェ」だけで検索すれば何千件も並ぶ。不具合ではないので、アカウント名に地名や特徴を足して、探される言葉と一致させる。	名前を変えるのは申請の前だけ。認証済なら原則変えられない（6ページ）

未認証と認証済の違い（ここを先に押さえる）

種類	どうやってなるか	バッジ	LINE内の検索	月額料金
未認証	開設した時点で全員こちら。審査なし	なし	出てこない	同じ。機能も同じ
認証済	あとから申請して審査を通る	緑色の認証バッジ	出てくる	

バッジを「青」と書いている記事は情報が古い可能性があります。いまの公式の表記は緑色です。色で判断せず、管理画面の認証ステータスで確かめてください。

認証を取るかどうかの判断表

決め手は1つ。新しいお客さんを検索から集めたいか

全員が認証を取るべき、という話ではありません。料金は同じなので、取らないことで失うのは「検索から見つけてもらう機会」だけです。近い例を探して、右の理由が自分にも当てはまるかを確かめてください。

店の状況（例）	判断	理由	出どころ
駅前のカフェ。近所の新しいお客さんに来てほしい	取る	現在地から近いアカウントとして出るのが効く	記事の表
和紙のネット通販。全国から注文を集めたい	取る	名前とキーワードで探される機会が増える	記事の表
会員制ヨガ教室。既存の会員へのお知らせだけ	未認証でよい	検索から来てほしい相手がいない	記事の表
工務店の、社内と職人さんの連絡用	未認証でよい	むしろ見つからないほうが都合がよい	記事の表
料理研究家が、個人名で発信したい	取れない	個人で情報発信するアカウントは対象外	記事の表
セミナーの参加者だけに案内を送る	未認証でよい	参加者にはURLを直接渡せる	記事の表
開業前の整体院。サイトはまだ準備中	サイト後に申請	実在確認でサイトを見られる。準備中だと通らない	記事の表
住宅街の美容室。新規のお客さんを増やしたい	取る	近くで探している人に出会えるかが決まる	広げた例
地域の学習塾。春の新入塾生を集めたい	取る	地名と業種の言葉で探す保護者に届く	広げた例
ペットサロン。来店済みの人の予約連絡だけ	未認証でよい	閉じた使い方なら検索は要らない	広げた例
会計事務所。紹介以外の相談も受けたい	取る	業種の言葉で探す人に名前が出る	広げた例
回数券を買った会員だけに空き枠を流すサロン	未認証でよい	相手はすでに友だちになっている	広げた例

「記事の表」は記事の判断表を架空の店に当てはめたもの。「広げた例」は同じ基準で足したもの。

自分の店を書き込む

問い	答え
検索から、新しいお客さんに来てほしいか	はい ・ いいえ
個人名ではなく、店や事業として発信するか	はい ・ いいえ（いいえなら認証は取れない）
事業内容、住所、連絡先が載ったサイトがあるか	ある ・ 準備中（準備中なら、できてから申請）
申請できる「管理者」権限の人は誰か	
決めたこと	認証を取る ・ 未認証のまま ・ サイトができてから申請

探される入り口と、アカウント名の例

認証済になると、名前がそのまま検索のキーワードになる

LINEの中で探される6つの入り口

探し方	中身
アカウント名	店名やサービス名で探す
ID	@から始まるIDを直接入れる
キーワード	「カフェ」「美容室」など業種の言葉
カテゴリー	LINEが用意している分類から辿る
現在地	近くのお店として表示される。認証済 だけ
電話番号	登録した電話番号から探す

名前に足す言葉の3つの型

型	効くのは
店名+地名	地元で探している人
店名+業種	店名から何屋かわからないとき
店名+特徴	競合と並んだときに選ばれたいとき

正式名称は必ず残します。店名を外して業種名だけにしたり、極端に略したりすると審査で止まります。

12業種のアカウント名の例（店名はすべて架空）

業種	店名だけ	探される名前	字数	足した型
カフェ	ひだまり珈琲	ひだまり珈琲 横浜元町	11字	地名
美容室	Lien	Lien 完全個室の美容室	13字	特徴
パーソナルジム	KAI	KAI パーソナルジム	11字	業種
整体	こもれば整体院	こもれば整体院 船橋駅前	12字	地名
学習塾	明星ゼミ	明星ゼミ 浦和の個別指導塾	13字	地名と業種
ネイルサロン	nail mint	nail mint 吉祥寺のネイル	17字	地名と業種
パン屋	麦の木	麦の木 天然酵母のパン屋	12字	特徴と業種
工務店	株式会社みどり住建	株式会社みどり住建 西宮の注文住宅	17字	地名と業種
写真スタジオ	スタジオ灯	スタジオ灯 七五三とお宮参り	14字	特徴
ペットサロン	ぼち庵	ぼち庵 町田の犬のトリミング	14字	地名と業種
通販	和紙の店 こより	和紙の店 こより 手すき和紙	14字	特徴
会計事務所	あおば会計事務所	あおば会計事務所 創業の相談	14字	特徴

字数はこのシートを作るときに機械で数えたもの。アカウント名は20文字まで入りますが、トークリストでは途中で切れるので、前半10文字で何のアカウントかわかるようにします（第6回 開設の記事より）。

1. いまの名前と、探されたい言葉

いまのアカウント名	
正式名称（登記や看板どおり）	
地名（駅名、町名、市区）	
業種の言葉（お客さんの言い方で）	
特徴（競合と違うところ）	

2. 候補を3つ書く（1マス1文字、20マスまで。色の付いた10マスで何の店か分かるように）

候補1

					5						10						15					20
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

候補2

					5						10						15					20
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

候補3

					5						10						15					20
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

3. 声に出して読んで、確かめる

- ☐ 正式名称が入っている
- ☐ 極端な略称や、業種名だけになっていない
- ☐ 個人名が混ざっていない（個人の発信は認証の対象外）
- ☐ お客さんが打ち込みそうな言葉が入っている
- ☐ 前半10文字で何のアカウントか分かる
- ☐ 誤字脱字がない

確定する名前（申請の前なら「設定」→「アカウント設定」からいつでも変えられる）

決めた日 年 月 日 決めた人

IDも名刺やチラシに載せるなら

初期のIDは@のあとにランダムな英数字が並びます。プレミアムID（月100円または年1,200円、税別）にすると好きな文字列にできます。未認証のままでも買えます。ただし検索の順位は上がりません。打ち込みやすくなるだけです。希望するID @

取り返しがつかないこと・やり直しがきかないこと

申請したあとは、アカウント名を変えられない	名前を決めてから申請する順番を守る。社名や屋号そのものが変わったときだけ再審査で変えられる
準備中のサイトで申請する	実在確認でサイトを見られるので、準備中や未完成だと落ちる。サイトを整えてから出したほうが早い
個人名のアカウントで申請する	個人で情報発信するアカウントは認証の対象外と公式が明記している
落ちて理由も教えてもらえない	ガイドラインに「審査結果およびその理由について説明する義務を負わない」とある。出す前に潰すしかない
審査の途中経過も教えてもらえない	審査は本人確認を含めて5から10営業日。途中で問い合わせても答えは返ってこない
申請できるのは「管理者」だけ	運用担当者の権限では申請できない。管理者が誰かを先に確かめる

勘違いしやすいこと

ID検索なら未認証でも出る	出ない。公式の表現はID検索も含む
認証すると料金が上がる	上がらない。無料のプランのまま認証済にもなれる
認証するとIDやQRコードが変わる	変わらない。配布済みのQRコードはそのまま使える
審査中はアカウントが使えない	使える。未認証のまま通常どおり運用できる
リサーチの自由回答が目当て	リサーチ機能は2026年12月2日で終了。11月18日に新規作成も回答受付も止まる

認証済になると使えるもの（使う予定のものに印を付ける）

☐	LINEアプリ内の検索に出る	緑色の認証バッジが付き、アカウント名が検索の対象になる
☐	現在地から近いアカウントとして出る	LINEアプリの周辺情報に表示される
☐	ポスターとノベルティ	キャラクター入りポスターを無料でダウンロード。QRコード入りのノベルティも買える
☐	請求書決済	クレジットカード以外に、Paidという請求書払いが選べる
☐	友だち追加広告	友だちが1人増えるごとに課金される広告（一部の業種は不可）
☐	メンバーシップ	月額課金の会員制サービスを作れる
☐	先にチャットを送れる	こちらから友だちに1対1のトークを始められる
☐	ショップカードの利用者が見える	使ったユーザーの名前とアイコンを確認できる
☐	クーポンを関連サービスに載せる	LINEアプリ内の面に露出する

申請ボタンを押す前に

- ☐ アカウント名を5ページで確定させた
- ☐ 正式名称が入っていて、個人名だけになっていない
- ☐ お客さんが打ち込みそうな言葉が入っている
- ☐ サイトが公開されていて、事業内容と住所と連絡先が載っている
- ☐ 申請するのは「管理者」権限の人
- ☐ 結果まで5から10営業日。電話とメールに出られる時期を選んだ

認証が通ったあとに

- ☐ 認証ステータスが「認証済」になっている
- ☐ 「検索結果とおすすめに表示」がオンになっている
- ☐ 設定を変えたなら、数時間から1日おいてから検索した
- ☐ プロフィール（営業時間、住所、電話番号、写真）を埋めた。空だとも見つかって友だち追加に進んでもらえない
- ☐ Web版プロフィールを公開した（認証済だけ。外部の検索サイトにもプロフィールが出る）

6つの入り口で、出るかを確かめる記録

自分のスマホのLINEで、お客さんと同じように探します。出たら「何番目か」も書いておくと、名前を工夫したときに比べられます。

探し方	入れた言葉	確かめた日	出たか	何番目か
アカウント名				
ID				
キーワード				
カテゴリー				
現在地				
電話番号				

認証の申請まで一緒に進めたい方へ

名前の決め方やサイトの整え方まで相談したい方は、この特典を受け取った公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。審査の5つの項目ごとの確かめ方は、次の第5回（認証の申請と審査）で扱っています。